

# 魚病を広げないために

( 養殖業・漁業関係のみなさまへ )

近年、ヨーロッパ・オセアニアでは、ウイルス病により、カキが死亡する大きな被害が出ています。




魚病は、感染した種苗の漁場への導入により発生します。

魚病が一度漁場に持ち込まれるとその除去は困難です。

健康な水産動物でも、感染している可能性があります。

種苗を入手するときは、次の3箇条を守りましょう!

## 魚病を広げないための3箇条

- 一．海外から種苗を持ち込まないようにしよう!
- 二．地元以外から種苗を入手するときは、事前に都道府県水産担当課に相談しよう!
- 三．原因不明のへい死がみられたときは、ただちに都道府県水産担当課に通報しよう!

農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課水産安全室 / 水産庁増殖推進部裁培養殖課

お問い合わせ先 岡山県農林水産部水産課振興班 tel:086 - 226 - 7446

## 養殖場に大きな被害をもたらすおそれのある魚病の例

### カキヘルペスウイルス1型変異株 <ウイルス>

〔病気の特徴〕 夏季に稚貝での死亡が多い。  
フランスでは死亡率40～100%。  
発生水温22～25（米国）、  
18～22（フランス）。

〔感染種〕 マガキ

〔発生病〕 フランス、イギリス、アイルランド、  
ニュージーランド、オーストラリア、オランダ  
(参考：OIE、豪州報告)



### アワビヘルペス様ウイルス <ウイルス>

〔病気の特徴〕 死亡率70～90%。  
発症後1～2日で死亡。  
発生水温16～19（台湾）。

〔感染種〕 アワビ類、トコブシ類

〔発生病〕 オーストラリア、台湾

(参考：OIE)



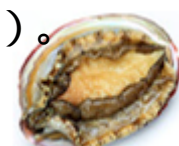
### キセノハリオチス <リケッチア（細胞内寄生細菌）>

〔病気の特徴〕 摂食障害、衰弱、足筋の萎縮（いしゆく）。  
北米では死亡率99%（種により異なる）。  
発生水温17以上。

〔感染種〕 アワビ類、トコブシ類

〔発生病〕 米国、メキシコ、フランス、アイルランド、  
アイスランド、チリ、中国、台湾、タイ、日本

(参考：OIE)



日本では  
H23に  
初めて確認

### パーキンサス・クグワディ <原虫>

〔病気の特徴〕 稚貝での死亡率は高く、90%以上。

〔感染種〕 ホタテガイ

〔発生病〕 カナダ

(参考：新魚病図鑑)



この他にも、養殖生産に影響を与える魚類・貝類・甲殻類の魚病があります。  
種苗の導入・移動については十分注意し、みんなで豊かな日本の海を守りましょう！